

## 2020 年度事業・決算報告および 2021 年度事業計画・予算

## 1. 報告事項

## (1) 第 31 回日本臨床微生物学会総会・学術集会

会 期：2020 年 1 月 31 日（金）～2 月 2 日（日）  
 会 場：石川県立音楽堂/ホテル日航金沢/金沢市アートホール  
 総 会 長：飯沼由嗣（金沢医科大学 臨床感染症学）  
 副総会長：小森敏明（長浜バイオ大学フロンティアバイオサイエンス学科）  
 参 加 者：2,434 名

## (2) 会員動向（2020 年度 11 月 30 日現在）

正会員 3,938 名 名誉会員 25 名 賛助会員 17 社（18 口）団体会員 17 件

## (3) 各種委員会活動報告

## ①編集・ホームページ委員会 委員長：國島広之

## a. 編集業務等

- ・日臨微誌 Vol. 30 は、No. 1～No. 4 および総会・学術集会抄録集の計 5 冊の編集業務を行った。
- ・Vol. 30, No. 1～No. 4 には、総説 4 編、原著論文 3 編、症例報告 15 編、治験論文 1 編、短報 1 編を収載した。

## b. 第 31 回総会・学術集会時に委員会企画「論文の書き方講習会」を開催した。

## c. 学会ホームページへ学会誌電子ジャーナルおよび総会案内等を掲載した。

## d. 学会ホームページの年間更新回数は 91 回、1 日平均アクセス数は 905 件、1 日平均閲覧ページ数は 2089 ページであった。

## ②教育委員会 委員長：大毛宏喜

## a. 第 67 回日本臨床検査医学会における共催シンポジウムの企画を行った。

## b. 日本小児感染症学会とのアドバンスセミナーの企画を行った。

## ③認定技師制度委員会 委員長：品川雅明

## a. 6 月に書面による認定臨床微生物検査技師制度協議会・審議会合同会議を開催した。

## b. 2020 年度資格認定試験を 11 月 15 日に全国 7 か所で実施した。

受験者数：62 名（うち ICMT との同時申請者 28 名）合格者数：57 名（同 26 名）

## c. 2020 年度更新審査、認定施設審査および認定施設更新審査を行った。

## d. 2020 年度 ICMT 取得申請および更新申請の受付を行った。

## ④検査法ガイド等作成委員会 委員長：宮本仁志

## a. 耐性菌検査法ガイド第 2 版作業部会を 2019 年 12 月 10 日に開催した。

## b. 「腸管感染症検査ガイドライン第 2 版」を印刷会社に入稿した。

## ⑤学術奨励賞委員会 委員長：柴山恵吾

## a. 2020 年度日本臨床微生物学会ビオメリュー賞および 2020 年度日本臨床微生物学会日本ベクトン・ディッキンソン賞の候補論文を選考し、理事会へ提案した。

## b. 創立四半世紀記念研究成果発表奨励基金の審査を行った。

## ⑥診療報酬検討委員会 委員長：荒岡秀樹

## a. 2020 年度診療報酬改定一時提案書に介意するアンケートを提出した。

## b. 10 月 15 日の内保連社員総会に出席した。

## c. 2022 年度診療報酬改定に向けたアンケートを実施した。

- d. 2022年度診療報酬改定提案項目は要望がなかった。また、各委員がCOVID-19対応に追われているため今回の提案を断念した。しかし、大塚副委員長が日本臨床検査医学会、日本臨床衛生検査技師会での委員を兼務しているため、他学会名によって微生物検査関連の増点要望は提出する予定である。

⑦国際委員会 委員長：柳原克紀

- a. CLSI会議（1月25日～28日 テンビ）の報告書をHPに掲載した。  
b. 2021年度Institut Mérieux若手研究者賞の募集を行った。

⑧感染症学セミナーワーキンググループ 委員長：大塚喜人

- a. 第22回医師・臨床検査技師・薬剤師・看護師のための感染症学セミナーを2月11日に「迫りくる海外からの感染症～オリンピックイヤーを迎える前に知っておきたいこと～」をテーマに慶應義塾大学において開催した。  
b. 第23回医師・臨床検査技師・薬剤師・看護師のための感染症学セミナー「症例を通して抗菌薬について学ぶ～βラクタム系薬編」はCOVID-19第1波の真っ只中で開催を断念し、返金・中止として、開催を再設定することとした。  
c. 第24回 医師・臨床検査技師・薬剤師・看護師のための感染症学セミナーをWeb開催した。  
テーマ：新型コロナウイルス感染症の悩みを解決する！検査・診断・感染対策について  
10月15日 Part 1：COVID-19の検査 参加者：1,725名  
10月29日 Part 2：COVID-19の診断 参加者：1,569名

⑨認定医制度委員会 委員長：八木哲也

- a. 10月26日にWeb会議を行った。  
b. 規則・細則を改訂した。2024年以降は完全試験制に移行することになり、資格取得・更新に必要な研修単位数が変更された。  
c. 2020年度の認定医申請・受験申請の受付および書類審査を行った。  
認定医申請者数：6名（うち受験申請者数：1名）合格者数：6名  
d. 2020年度の認定医更新申請の受付および書類審査を行った。  
更新者数：8名

⑩「寄生虫・ウイルス」ワーキンググループ 委員長：春木宏介

- a. 「寄生虫による感染症セミナー」を2019年12月15日に神戸常盤大学において開催した。  
参加者数60名

⑪感染症領域新規検査検討委員会 委員長：三嶋廣繁

- a. 「イムノクロマト法による赤痢アメーバ抗原検出試薬の早期承認および早期保険収載についての要望書」を厚生労働省医政局および保健局、PMDAに提出し、承認された。  
b. 「アウトブレイク時の遺伝子検査法のあり方実践的ガイドライン」を作成し、会誌に掲載した。  
c. 「赤痢アメーバ抗原検査の臨床活用に関して」を作成し、HPに掲載した。

(4) 2020年度日本臨床微生物学会学術奨励賞

①2020年度日本臨床微生物学会日本ビオメリュー学術奨励賞

「カルバペネマーゼ鑑別ディスク MASTDISCS combi Carba plusの有用性に関する検討」  
Vol. 30 No. 3 西田 全子（神戸大学医学部附属病院検査部）ほか

②2020年度日本臨床微生物学会日本ベクトン・ディッキンソン研究奨励賞

「Acinetobacter属菌のパルスフィールドゲル電気泳動法とリアルタイムPCR法、シカジーニクス分子疫学解析POTキット（アシネトバクター属菌用）を用いたタイピングの検討」  
Vol. 30 No.1 海宝 まゆ子（順天堂大学医学部附属浦安病院 臨床検査医学科）ほか

## (5) その他

## ①新型コロナウイルス感染症関連

- a. 【注意喚起】「新型コロナウイルス（2019-nCoV）感染（疑いを含む）患者検体の取り扱いについて」を2月10日にHPに掲載した。
- b. 「BD MAX を用いた 2019-nCoV 検出～One step RT real-time PCR による検査手順書～」を2月20日にHPに掲載した。
- c. 【提言】「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の核酸検出検査の臨床活用」を3月9日にHPに掲載した。
- d. 「COVID-19 緊急 Web セミナー」を3月5日に開催し、後日HPで公開した。
- e. 「COVID-19 緊急 Web ミーティング」を3月19日に開催した。
- f. 「心肺停止（CPA）症例（病院前診療を含む）に対する新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について」を3月24日にHPに掲載した。
- g. 4月1日にPCR検査職員募集のお知らせをHPに掲載した。
- h. 【提言】「新型コロナウイルス感染症に対する検査の考え方—遺伝子診断、抗体・抗原検査の特徴と使い分け—」を5月29日にHPに掲載した。
- i. 【提言】新型コロナウイルス核酸検査に係わる施設基準ならびに、検体搬送・精度管理の方針を6月25日にHPに掲載した。
- j. 「無症状者に対する SARS-CoV-2 検査での注意点」を8月7日にHPに掲載した。
- k. 「唾液を用いた PCR や抗原検査における検体採取や検査の注意点」を9月10日にHPに掲載した。
- l. 「COVID-19 病原体検査の指針」（作成協力）が10月2日に厚生労働省HPに公開された。
- m. 「新型コロナウイルス（SARS CoV 2）の検査法に関する情報発信（一般の方向け）」をHPに掲載した。

## ②共催シンポジウム

- a. 11月22日に、第67回日本臨床検査医学会において「今、改めて考えたい臨床微生物検査の適正化支援—COVID-19 感染症の経験を踏まえて—」をテーマに共催シンポジウムを開催した。

## ③関連4学会による「抗菌薬の安定供給に向けた4学会の提言」を受けて、9月に厚生労働省が「医療用医薬品の安定確保に関する関係者会議（取りまとめ資料）」を発表した。

## ④ICD（インфекションコントロールドクター）協議会 委員：石和田稔彦

- a. 本学会への認定申請3名の手続きを行った。

## ⑤三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス運営委員会 委員：柳原克紀、柴山恵吾

- a. 8月28日に運営委員会・実務委員会を開催した。

## 2. 2020年度決算報告

【資料1】

## II. 2021年度事業計画および予算

## 1. 会務

- (1) 第32回日本臨床微生物学会総会・学術集会
  - 会 期：2021年1月29日（金）～2月28日（日）
  - 開催方式：Web開催
  - 総 会 長：三澤 成毅（順天堂大学医学部附属順天堂医院）
  - 副総会長：細川 直登（亀田総合病院）
- (2) 第32回総会・学術集会中の学会企画
  - ①三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会報告
  - ②2021年度認定臨床微生物検査技師・ICMT合同講習会

③編集・ホームページ委員会企画

④国際委員会企画

(3) 会議開催予定

会務総会および評議員会を年1回開催する。

理事および幹事会を例年と同様のスケジュールで開催する。

(4) 第24回 医師・臨床検査技師・薬剤師・看護師のための感染症学セミナー Part 3

テーマ：新型コロナウイルス感染症の悩みを解決する！検査・診断・感染対策について—COVID-19の感染対策—

2020年12月17日 Web開催 参加者：2,156名

(5) 日本小児感染症学会とのアドバンスセミナー 2021年2月14日 Web開催

(6) その他

①30周年記念事業として作成され、会員に配布された「臨床微生物アトラス」を2年間の期間限定でHPに一般公開する。

2. 2021年度収支予算

【資料2】

3. 新名誉会員

河野 茂 : 長崎大学

江崎 孝行 : 岐阜大学

4. 新評議員

金子 幸弘 : 大阪市立大学大学院 医学研究科 細菌学

掛屋 弘 : 大阪市立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学

上村 桂一 : 掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター

輪島 丈明 : 東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室

河原 隆二 : 大阪健康安全基盤研究所 微生物部細菌科

小川 美保 : (株) ビー・エム・エル 細菌検査部

上蓑 義典 : 慶應義塾大学 医学部 臨床検査医学

5. 第33回日本臨床微生物学会総会・学術集会

会 期：2022年1月28日（金）～30日（日）

会 場：仙台国際センター（仙台）

総 会 長：金光 敬二（福島県立医科大学感染制御学講座）

副総会長：豊川 真弘（福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科）

6. 第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会

総 会 長：松本 哲哉（国際医療福祉大学医学部 感染症学講座）

7. 第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会

総 会 長：大塚 喜人（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 臨床検査部）

8. 第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会

総 会 長：八木 哲也（名古屋大学大学院医学系研究科 臨床感染制御学分野）

9. 第37回日本臨床微生物学会総会・学術集会

総会長：高橋 孝（北里大学大学院 感染制御科学府・感染症学研究室）

以上

貸借対照表  
2020年11月30日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	139,813,483	166,130,793	▲ 26,317,310
未収金	605,150	484,000	121,150
前払金	241,443	577,124	▲ 335,681
貯蔵品	51,300	81,300	▲ 30,000
流動資産合計	140,711,376	167,273,217	▲ 26,561,841
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
サーベイランス事業積立基金	10,831,547	10,454,603	376,944
リネゾリド事業積立基金	1,686,928	2,354,495	▲ 667,567
特別事業積立金	4,352,798	4,352,762	36
創立四半世紀記念研究成果発表奨励基金	5,450,917	6,450,860	▲ 999,943
ASTの標準化とCPE検出法の構築研究費積立金	753,485	753,479	6
特定資産合計	23,075,675	24,366,199	▲ 1,290,524
<b>(2) その他固定資産</b>			
敷金	483,000	483,000	0
その他固定資産合計	483,000	483,000	0
固定資産合計	23,558,675	24,849,199	▲ 1,290,524
資産合計	164,270,051	192,122,416	▲ 27,852,365
<b>II. 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	922,644	1,293,859	▲ 371,215
前受会費	286,000	64,000	222,000
前受金	8,856,000	58,125,000	▲ 49,269,000
預り金	1,390,035	472,362	917,673
未払消費税等	1,089,600	1,589,600	▲ 500,000
未払法人税等	1,532,600	3,321,900	▲ 1,789,300
流動負債合計	14,076,879	64,866,721	▲ 50,789,842
負債合計	14,076,879	64,866,721	▲ 50,789,842
<b>III. 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
受取寄附金等	13,271,960	13,562,577	▲ 290,617
指定正味財産合計	13,271,960	13,562,577	▲ 290,617
(うち特定資産への充当額)	(13,271,960)	(13,562,577)	290,617
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち特定資産への充当額)	136,921,212	113,693,118	23,228,094
	(9,803,715)	(10,803,622)	999,907
正味財産合計	150,193,172	127,255,695	22,937,477
負債及び正味財産合計	164,270,051	192,122,416	▲ 27,852,365

## 資料2

2021年度 予算書  
2020年12月1日から2021年11月30日まで

(単位:円)

科目	2021年度予算額	2020年度予算額	差額
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常収益</b>			
(1) 利子収入	2,000	1,000	1,000
(2) 会費収入	31,736,000	32,012,000	▲ 276,000
① 正会員会費収入	29,808,000	29,976,000	▲ 168,000
② 賛助会員会費収入	1,800,000	1,900,000	▲ 100,000
③ 団体会員会費収入	128,000	136,000	▲ 8,000
(3) 学会誌等刊行収入	5,110,000	3,796,000	1,314,000
① 広告掲載料	2,700,000	2,876,000	▲ 176,000
② 別冊代	750,000	10,000	740,000
③ 総会抄録代	600,000	650,000	▲ 50,000
④ ガイドライン等頒布収入	10,000	30,000	▲ 20,000
⑤ 論文掲載料	270,000	210,000	60,000
⑥ 印税等収入	230,000	20,000	210,000
⑦ 転載許諾料	550,000	0	550,000
(4) 講習会開催収入	1,530,000	2,090,000	▲ 560,000
① 教育セミナー参加費	610,000	610,000	0
② 地区研修会参加費	0	560,000	▲ 560,000
③ 感染症学セミナー参加費	920,000	920,000	0
(5) 学術奨励賞収入	1,200,000	600,000	600,000
(6) 認定医申請・登録料収入	400,000	480,000	▲ 80,000
(7) 受取寄付金収入	1,200,000	1,100,000	100,000
(8) 総会収入	40,002,500	85,056,100	▲ 45,053,600
(9) 三学会合同サーベイランス事業収入	11,200,000	12,120,000	▲ 920,000
(10) 三学会合同リネソリド事業収入	670,000	670,000	0
(11) 雑収入	340,000	360,000	▲ 20,000
(12) 受取民間助成金振替額	750,000	750,000	0
経常収益計	94,140,500	139,035,100	▲ 44,894,600
<b>2. 経常費用</b>			
(1) 事業費			
① 学会誌等刊行費	19,820,000	15,820,000	4,000,000
i 雑誌刊行費	8,920,000	8,920,000	0
ii 発送費	2,450,000	2,450,000	0
iii 英文抄録翻訳補助費	10,000	10,000	0
iv 総説原稿料	60,000	60,000	0
v ホームページ運営費	5,000,000	1,250,000	3,750,000
vi メール配信費	130,000	130,000	0
vii ガイドライン刊行費	3,000,000	3,000,000	0
viii オンライン査読システム	250,000	0	250,000
② 講習会開催費	3,390,000	4,820,000	▲ 1,430,000
i 教育セミナー開催費	1,500,000	1,500,000	0
ii 地区研修会開催費	0	1,430,000	▲ 1,430,000
iii 感染症学セミナー開催費	1,270,000	1,270,000	0
iv 四学会合同セミナー開催費	620,000	620,000	0
③ 学術奨励賞	600,000	600,000	0
④ 創立四半世紀記念奨励補助金	1,000,000	1,000,000	0
⑤ 海外留学支援補助金	2,000,000	2,000,000	0
⑥ 認定費	30,000	30,000	0
⑦ 国際交流費	3,000,000	3,000,000	0
⑧ 総会費用	40,002,500	85,056,100	▲ 45,053,600
⑨ 三学会合同サーベイランス事業費	11,200,000	12,120,000	▲ 920,000
⑩ 三学会合同リネソリド事業費	670,000	670,000	0
⑪ 委員会費	750,000	240,000	510,000
⑫ ASTの標準化とCPE検出法の構築研究費	750,000	750,000	0
⑬ 精度管理事業費	550,000	550,000	0
事業費計	83,762,500	126,656,100	▲ 42,893,600
(2) 管理費			
① 給料手当	14,850,000	14,850,000	0
② 福利厚生費	2,160,000	2,160,000	0
③ 光熱水料費	70,000	70,000	0
④ 通信運搬費	1,200,000	1,200,000	0
⑤ 業務委託費	620,000	620,000	0
⑥ 賃借料	3,000,000	2,500,000	500,000
⑦ 会議費	720,000	720,000	0
⑧ 旅費交通費	2,450,000	2,450,000	0
⑨ 消耗品費	1,300,000	950,000	350,000
⑩ 諸謝金	740,000	740,000	0
⑪ 諸会費	350,000	350,000	0
⑫ リース料	230,000	230,000	0
⑬ 租税公課	2,730,000	2,730,000	0
⑭ 雑費	640,000	640,000	0
管理費計	31,060,000	30,210,000	850,000
経常費用計	114,822,500	156,866,100	▲ 42,043,600
経常増減額	▲ 20,682,000	▲ 17,831,000	▲ 2,851,000
税引前一般正味財産増減額	▲ 20,682,000	▲ 17,831,000	▲ 2,851,000
法人税等	1,500,000	3,320,000	▲ 1,820,000
税引後一般正味財産増減額	▲ 22,182,000	▲ 21,151,000	▲ 1,031,000
一般正味財産期首残高	136,921,212	113,693,118	23,228,094
一般正味財産期末残高	114,739,212	92,542,118	22,197,094
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>			
三学会合同サーベイランス	11,600,000	16,580,000	▲ 4,980,000
三学会合同リネソリド	0	990,000	▲ 990,000
一般正味財産への振替額	12,620,000	13,540,000	▲ 920,000
指定正味財産増減額	▲ 1,020,000	4,030,000	▲ 5,050,000
指定正味財産期首残高	13,271,960	13,562,577	▲ 290,617
指定正味財産期末残高	12,251,960	17,592,577	▲ 5,340,617
<b>III. 正味財産期末残高</b>	126,991,172	110,134,695	16,856,477